

# カミノトピックス

## 新たな歴史のはじまりです

千歳市内では向陽台中学校以来25年振りの新設中学校として勇舞（ゆうまい）中学校がこの4月開校しました。母体となる富丘中の生徒数増加を受け、2007年に分離校の新設が決定、2010年に開校準備委員会が発足し、2011年から校舎の建設が進められてきました。開校時は13学級で生徒数426人。教職員28人でのスタートです。初代校長に就任された杉本祐治校長先生にお話をうかがってきました。

Q：開校から1ヶ月が経過しましたが、生徒さんや先生方含め学校の様子はいかがですか？

A：生徒も先生も緊張感一杯でしたが、当初よりは少しフラットになった気がします。

しかし、「みんなで新しい学校を創るんだ」という無言の重圧があります。

この1ヶ月は大きなトラブルや問題もなく学校教育が行われています。

生徒は授業に集中して取り組む姿が多く見られ、とても落ち着いた生活をしています。

また、参観日やPTA総会、教育説明会・部活動説明会など、保護者の皆さんが学校

に来ていただく機会が多くありましたが、いずれも参加率が非常に高く教育に対する

関心の高い地域だと実感しています。

Q：校長先生も3年振りの千歳市勤務ですが、印象など変化はありますか？

A：以前千歳に勤務した経験から、市P連活動に積極的で、当然各単Pの活動も充実している印象があります。

勇舞中のPTAも設立総会を無事終了し、これからの活動に期待を持って見守りたいと思います。個人的には、千歳の美味しい水が、また飲めることを家族共々嬉しく思っています。

Q：開校理念の「きらやかに、しなやかに」についてお聞かせください。

A：「生徒一人一人の個性をきらめかせ、困難に立ち向かうしなやかさを培う」という教育理念からきているのですが、開校するにあたって、教育目標も校歌も無い状況からのスタートです。したがって本校を象徴する言葉や目標とする言葉が必要でした。設定にはなるべく簡単で分かりやすく、そしてひらがなで表記できるものを考え設定しました。自分の個性を發揮し、困難な時代だからこそ遅く生きていくことを願い制定しました。

Q：勇舞中学校の特色はどんなところですか？

A：生活と学習は車の両輪と言えます。特に中学校は、落ち着いた校風を醸成することが極めて有効であると考えています。

本校は開校から全校一斉の朝読書やノーチャイムの実践に加え、先生方の校内放送の自粛に取り組んでいます。こうした実践が、本校の特色として成長していくことを願っているところです。

明るく元気に挨拶をしてくれる生徒たちに元氣と清々しさをいただいて、今後も何かお役立ちが出来れば、そして我が社と一緒に成長して行けたらと感じた今回の取材でした。（談：SINKA・国府田）



杉本祐治校長先生



真新しい校門  
ここからスタートです



吹き抜けて開放的  
節電対策もとられて  
います



トロフィーなどを飾るショーケース  
これから多くのトロフィーなどが飾られることで  
しょう 楽しみですね

5月12（土）当社親睦会の恒例行事のパークゴルフ大会が開催されました。「ユニの湯」に併設するパークゴルフ場で、桜が満開でとてもきれいでしたが、とても寒くおまけに何度も帽子が飛ぶ程の強風の中、チームに分かれて賞金を賭けた（！？）プレーを行いました。親睦会行事以外は、ほとんどプレーすることもなく今回初めて知ったルールもあったり・・・危うく隣のコースへボールが行きそうになったり、バンカーに入ったりとなかなか思うような場所へは行かず打数は社内一かもしれせん。パークゴルフ後は、焼肉を食べて、冷えた身体を温泉で温めると楽しく過ごしました。ご存知の方も多くいらっしゃると思いますが、パークゴルフの発祥地は北海道です。十勝管内幕別町生まれです。1983年に幕別町教育委員会の方が鳥取県発祥のグランドゴルフをアレンジし誕生しました。名前の通り、公園の一画で遊べるスポーツとして始まり、第1号コースは幕別町運動公園の7ホールで、当初の名前はグランドゴルフでしたが、1986年3月にパークゴルフに改称されました。ルールはシンプルで、子どもから高齢の方まで身近なスポーツとして手軽に気軽に楽しめます。これからのシーズン、運動&健康促進に皆さんもいかがでしょうか。（談：J.R・下畝）



今回、千歳市北信濃にある『日本アスパラガス株式会社』様をご紹介します。  
千歳工場長の岡部様にお話をお聞きしました。

本社は岩内郡岩内町にあり、大正 11 年に岩内で日本では初めての試験栽培された「アスパラガス」を使い、前身の会社が 大正 13 年に東洋で最初のホワイトアスパラの缶詰工場として稼働を始めたのが、現在の社名の由来になっているそうです。昭和 26 年に『日本アスパラガス株式会社』が設立され、アスパラガスの缶詰の他にスイートコーンの缶詰、魚介類の缶詰、冷凍食品を生産していましたが、時代と共に生産内容も変わり、昭和 55 年に清涼缶工場を新設、平成 4 年に炭酸飲料工場を新設し缶飲料、ペットボトル飲料の生産にシフトしていったそうです。

千歳工場は平成 18 年 4 月にサントリー(株)千歳工場の施設を受継いで、サントリーのペットボトル飲料 (DAKARA・CCレモン・ペプシ NEX・ウーロン茶他) デカピタCの瓶飲料を職員 10 名とアウトソーシングしている従業員 35 名で、年間 24 本入ケース換算で 350 万ケースを生産しています。主な得意先には、サントリー(株)、アサヒ飲料(株)、キリンビバレッジ(株)、コカ・コーナショナルビバレッジ(株)、ペプシ NEX、サッポロ飲料(株)、森永製菓(株)、(株)セイコーマートなど大手飲料販売会社と取引されています。

岡部工場長は昭和 22 年生まれで、昭和 44 年に入社され、その間幾多のご苦労があったそうですが、その中でもアスパラガス缶詰工場から飲料製品へとシフトしていく時期が一番苦労されたそうです。

国内の飲料メーカーの統廃合が進み、めまぐるしく変化していく企業形態や経済状況の世の中ですが、今までの会社の経歴や業績、バイタリティー溢れる工場長にお話をうかがい『日本アスパラガス株式会社』様は常に成長、前進していくのだと感じました。

お忙しい中、貴重なお時間をありがとうございました。

(談：W.F・岡田)



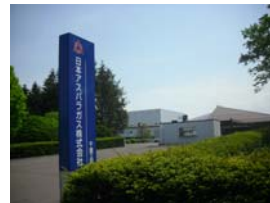
工場長の岡部様



岩内町にある「日本アスパラ発祥の地」の碑



皆さんおなじみの「ウーロン茶」を製造中  
食事といっしょに、そして  
これからの季節には冷たいお茶が最高です



きれいな庭園に囲まれた千歳工場

展示会のご案内

**KAMINO PRESENTATION FAIR 2012**  
～『色』と『灯り』で明るい未来を～

日時：平成 24 年 6 月 6 日(水)・7 日(木)  
AM 9:30 ~ PM 6:00  
場所：千歳サケのふるさと館 2F

是非、この機会に体感してください。  
お待ちしております。

5 月 26 日(土)にキリンビール(株)北海道千歳工場様主催の「2012 年クリーンアップ活動」に参加しました。6 月 3 日に開催される千歳 JAL 国際マラソンコースのゴミ拾いです。当日早朝の雷雨に開催を心配しましたが、集合時間までには雨もやみ、キリンビール関係社員の方や関連会社の方を合わせて 120 名ほどで 1 時間かけて行いました。当社も 9 名参加しました。コースはゴミもあまり落ちてなく、青葉公園内では練習する小学生など何人もの人とすれ違いました。キリンビール様では、当日ボランティア、ランナーとして参加する方も多そうです。当社も 2 名参加予定です。ご健闘をお祈りいたします！



一ベトナム旅行記一

メーカーの海外視察研修旅行に行ってきた社員のお話です。事前にガイドブックを購入、いざベトナムへ。ハノイ空港に到着して一番に感じたことは“蒸し暑い”。今時期の気温は 30 度以上のベトナム、旅立つ北海道は肌寒く 15 度。時差マイナス 2 時間でこんなに違うとは…。滞在期間中の日中の気温は 35 度、時よりスコールに合いなかなか観光もできなかったようですが、街中は車より“バイク”、しかも二人、三人乗りは当たり前、信号はあるのやらないのやら。文化や環境などへの認識の違いを感じたとの事。

1975 年に終戦したベトナム戦争。軍事博物館では戦争の歴史が展示されており、外には爆撃された米国戦闘機や戦車が、館内には武器や多くの写真に目頭が熱くなったそうです。ハノイ大教会、ベトナムの英雄ホーチミンの家などを観光。ベトナム料理の代表“フォー”を食べて来たとの事でした。

尚、伝統的なデザインのアオザイを着た女性はスタイル良くて美人が多かったとか・・・(\*^^)v



ハノイ市内の光景です  
雨が降っていても  
バイクが交通手段



当時の戦闘機が、無残な形で展示されていました



ベトナム料理の代表「フォー」  
きしめんのような平麺のライスヌードル



**2012年 5月 31日 VOL. 83**

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@rose.ocn.ne.jp